

生成 AI 研究校実践事例

学校名	都立淵江学校（全日制課程・高等部）		
学年	第2学年	教科等	コミュニケーション英語
単元名（全5時間）	英作文を作ってスピーチをしよう		
授業の概要	英作文を作成し、生成 AI を用いて添削する		
本時において生成 AI を活用する良さ（※初回授業は不要）	生成 AI を用いて添削させることで、その場で文章の改良を行くことができる。また、自身にはなかった単語を知るきっかけにもなり、知識向上にもつながる。		

本時の目標 (4/5 時間)	I believe that ~ というフレーズを用いて自身の意見を述べるができる。		
	●主な学習活動・生徒の活用	□生成 AI の活用	
本時の流れ	● 前時の振り返り 本文の内容を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> (主発問) 英作文を作ってスピーチをしよう </div>		
	● 「必要・不要だと思うサービス」というテーマについて日本語で考えをまとめる。 ・ 3つの理由から意見を述べるように指示を出す。 ● 「I believe that~」というフレーズで英作文を作成する。 ● 作成した英作文を、指定のプロンプトを基に生成 AI に添削させる。 ・ 訂正後の文章に誤りがないかを必ず確認する。 ・ 手入力になるため、スペルミスがないように注意する。 ● 音読を提出 ・ Teams の課題より自身が作成した英作文を音読し、その結果を送信する。 ・ 授業内で終わりきらない場合、課題として期日までに送信させる。	□生徒による活用 要約した文章を生成 AI に貼り付け、指定のプロンプトにのって添削する。	

	使用したプロンプト例	出力例
1	<p>次の英作文は、「必要・不要だと思うサービスについて考えよう」というテーマで書かれたものです。</p> <p>以下の条件を踏まえて添削をしてください。</p> <p># 条件</p> <p>I believe that の形は崩さない。</p> <p>複数の理由を述べている</p> <p>I believe that garbage collection campants are necessary.Need to take out the trash yourself.Air and water could be contaminated.For these reasons, I need garbage collection campants.</p>	<p>以下に、条件を踏まえて添削した英作文を示します。</p> <hr/> <p>I believe that garbage collection companies are necessary. If people had to take out the trash themselves, air and water could be contaminated. For these reasons, I believe that garbage collection companies are essential.</p> <hr/> <p>修正点：</p> <p>"campants"を"companies"に修正。</p> <p>文の流れを自然にするために、2つの文を1つに統合。</p> <p>最後の文にもう一度"I believe that"を追加して、テーマに沿った形に。</p> <p>これで、複数の理由がしっかりと述べられた、より流暢な英作文になりました。</p> <p>SS</p>

	本時において生成AIを活用する上での配慮事項・ポイント
1	<p>●単語の理解</p> <p>訂正された文章に出てきた単語の意味は必ず調べさせることで、「理解もなく出力した文章を読み上げる」という状態を作らないようにする。</p>
2	<p>●出力された文章をそのまま使用しない。</p> <p>代名詞を使う場面で使われていなかったり、必ず入れるべき文、文法が抜けていたりしている場合も考えられるので、文法的に誤りがないか出力された文章を確認する。</p>